

利用申請書（保育所等用）

2026 年 9 月改定版

B

以下の項目に同意の上、特定教育・保育施設、特定地域型保育事業の利用を申請します。

【利用申請にあたって】
●この申請書に記載されている事項の中で教育・保育の運営上必要と認められる情報を施設・事業者提供することに同意します。
●その他、利用を希望する年度の横浜市保育所等利用案内に記載の「申請にあたっての同意事項」に同意します。

記入例

申請先	横浜市 中 福祉保健センター長	申請日	2026 年 11 月 1 日
-----	-----------------	-----	-----------------

申請に係る児童	フリガナ	カンナイ サクラ	性別	男 ☐ 女 ☒	生年月日	2025 年 6 月 10 日
児童の氏名	関内 さくら					

申請者（給付認定保護者）	フリガナ	カンナイ ハナコ	生年月日	1999 年 1 月 5 日
氏名	関内 花子			

※給付認定申請書 A に記載の申請者名を記入してください。

利用申請区分等	申請区分	☒ 新規利用申請 ☐ 転園申請 ※ 転園が内定した場合には、元の施設・事業に戻ることはできません。	現在の施設・事業名	所在区（ ）区
		《転園理由》	☐ 転居を伴うため（転居（予定）時期： 年 月 日） （転居先住所： ） ☐ きょうだい同一施設・事業の利用を希望するため ☐ その他（ ）	
	利用開始希望日	☒ 4月1日 ※ 開始日は原則、各月1日付となります。 ☐ 年 月 1 日		

市内の施設・事業の場合は「区名」を、市外の場合は「市区町村名」を記入してください。

●利用が決まった場合に、通うことができる施設・事業を記入してください。また、月齢が足りない場合は記入できません。
●正しく利用調整を行えない場合があるため、希望施設・事業種別、希望施設・事業名は正確に記入してください。

希望順位	希望施設・事業種別（☑を記入）	希望施設・事業名	所在区（市区町村）名
第1希望	☒ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業（地域枠）	○△□保育園	中 区
第2希望	☒ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業（地域枠）	△△保育園	中 区
第3希望	☒ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業	○○△△保育園	中 区
第4希望	☒ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業		中 区
第5希望	☐ 保育所 ☒ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業		中 区
第6希望	☒ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業（地域枠）	横浜市○○保育園	西 区
第7希望	☐ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☒ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業（地域枠）	□□□保育室	西 区
第8希望	☒ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業（地域枠）	○△△保育園	西 区
第9希望	☒ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☐ 事業所内保育事業（地域枠）	保育園★△	西 区
第10希望	☐ 保育所 ☐ 認定こども園（保育利用） ☐ 家庭的保育事業 ☐ 小規模保育事業 ☒ 事業所内保育事業（地域枠）	◇◇保育室	西 区

11 か所以上希望施設・事業がある場合は右にチェックしたうえで、別紙に記入してください。
様式は任意ですが、横浜市ウェブサイトにて参考様式を掲載しています。

☐ 11か所以上希望園があります ※2枚目あり

より多くの施設・事業を記入すると入所の可能性が高まります。
「えんさがしサポート★よこはま保育」には、各園の昨年度の募集人数や申込人数、園の写真など園選びの参考になる情報が満載です。ぜひ、ご活用ください。



希望園が 11 か所以上あり、2 枚目がある方はチェックをしてください。

利用を希望した施設・事業を利用できなかった時の予定（利用調整には影響しません）

その他の施設・事業を利用する	→ ☐ 幼稚園 ☐ 認定こども園（教育利用） ☐ 横浜保育室 ☒ 認可外保育施設 ☐ 事業所内保育事業（従業員枠）
☐ 育児休業延長 ☐ 今回の利用申請を取り下げる ☐ 職場につれていく ☐ 親族が保育する（保育予定者： 続柄： ）	
☐ 現在利用している施設を利用する ☐ 保護者が保育する ☐ その他（ ）	

B おもて(裏面有)

*希望者のみ	下記項目に☑した場合、利用調整の優先順位が下がります（最低ランク・調整指数（I-10））。※空きがある場合は利用内定となり、保留通知書は発行されません。			
	☐希望する保育所等に入所できない場合は、育児休業の延長も許可できるため、利用調整の優先順位が下がってもよい(利用案内P22の内容を理解した) この選択をもって、育児休業給付金の審査に影響することはありません。  ◀ここにチェックを入れるとどうなるの？ (横浜市ウェブサイト)			
申請児童の保育の状況	☒自宅で見ている（☒保護者 ☐その他（保育者名 _____ 生年月日 _____ 児童との関係 _____）） ☐自宅外に預けている ※ ①および②をそれぞれ記入してください。 ※ 当てはまるもの全てに☑してください。 ① 保育者または施設・事業名： _____ 所在地： _____ 利用開始年月： _____ 年 _____ 月～ 利用料（月額）： _____ 円 ② ☐認可保育所・認定こども園 ☐家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業（地域枠） ☐事業所内保育事業（従業員枠） ☐横浜保育室・川崎認定保育園 ☐幼稚園 ☐認可外保育施設 ☐一時保育（月 _____ 時間） ☐年度限定保育事業 ☐知人 ☐親族（続柄 _____ 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日） ☐その他（ _____ ） ☐その他（ _____ ）			
	申請児童の健康状態・配慮事項等			
*該当者のみ	お子さんを安全に保育するにあたって大切な情報のため、医療機関等への相談時期や園で必要な対応も含めて詳細に記入してください。			
	① 健診の受診 ☐無・☒有 ⇒ ☒4か月健診 ☐1歳半健診 ☐3歳健診 ☐その他（ _____ ） ② 健診時の指摘事項 ☒無・☐有 ⇒ 詳細と園で必要な対応： _____ ③ 発達上の心配事 ☒無・☐有 ⇒ 詳細と園で必要な対応： _____ ④ その他集団における配慮 ☐無・☒有 ⇒ 詳細と園で必要な対応： 日本語を話すことができません。英語は話せます。 ⑤ 定期的な通院 ☒無・☐有 ⇒ 通院頻度： ☐週/☐月/☐年（ _____ ）回 診断内容(病名等)： _____ 園で必要な対応： _____ ⑥ 区の保健師・ソーシャルワーカーへの相談 ☒無・☐有 ⇒ 詳細と園で必要な対応： _____ ⑦ 療育センターへの相談 ☒無・☐有 ⇒ 詳細と園で必要な対応： _____ ⑧ アレルギー等 ☐無・☒有 ⇒ アレルギー品目名： そば アレルギーの程度（例：接触不可、摂食不可等）： 食べるのも触るのも不可 園で必要な対応（例：部屋を分けての食事が必要）： 手が届かないように距離を取る必要がある ⑨ 食事制限 ☒無・☐有 ⇒ 詳細と園で必要な対応： _____			
*該当者のみ	再度利用申請あり	安全に保育所等で過ごすために、お子さんの正確な情報を記載いただく必要があります。正確な情報を把握できないと、安全な保育環境を確保できず、保育所等の利用が難しくなる場合もあるため、些細なことでもご記載ください（利用案内のP4の7・8参照）。		
	申請の産休・休業事業あり	利用) ☐小規模保育事業 ☐家庭的保育事業 認定保育園 ☐その他(_____) 年度横浜市保育所等利用案内」(P17)をご確認ください。 所在区 (_____) 区)		
*該当者のみ	卒園状況	申請児童が地域型保育事業、横浜保育室等を卒園したことがありますか？ ☐ 有	施設・事業の種類 ☐ 小規模保育事業 ☐家庭的保育事業 ☐認可乳児保育所 ☐ 横浜保育室・川崎認定保育園 ☐年度限定保育事業 ☐その他(_____) ※卒園証明書の可否については、「令和8年度横浜市保育所等利用案内」(P17)をご確認ください。	施設・事業名 所在区 (_____) 区)
	きょうだいが同時に利用申請(転園申請を含む)を行う場合	1～3の意向はきょうだいでそろえてください。そろっていない場合には、ランク・指数等の高い方の児童の意向にそえます。		
*該当者のみ	1	きょうだいが同時に同じ保育所等を利用できる場合のみ、利用を希望しますか？ ☐ はい → 終了（ただし、転園申請の場合は4へ進む） ☐ いいえ → 2・3へ進む（ただし、転園申請の場合は2・3・4へ進む）		
	2	希望する選択肢に☑をいれてください。(いずれかひとつに☑) ☐ きょうだいのうち、ひとりだけ内定した場合でも利用を希望する(どの子が先でもよい) ☐ きょうだいのうち、児童名： _____ が先に内定した場合のみ利用を希望する ☐ きょうだいひとりだけや一部の子どもだけの利用は希望しない		
	3	希望する選択肢に☑をいれてください。(いずれかひとつに☑) 申請したきょうだい全員が同時に利用できる場合、 ☐ 希望順位が低くても、きょうだい全員が同じ保育所等を利用したい(同園優先) ▶ 複数の保育所等できょうだいがそろう場合、児童名： _____ の希望順位の高い保育所等を優先してほしい。 ☐ きょうだいが別の園になっても、それぞれの児童の希望順位の高い保育所等を利用したい(順位優先)		
	4	転園申請の場合は、こちらも回答してください。 (1)現在在園している保育所等を希望園に含めたうえで、きょうだいを同じ園にそろえることを希望しますか？ ☐ はい…在園している保育所等は _____ 番目に希望する。 ☐ いいえ (2)きょうだいが同じ園にそろわない場合でも転園を希望しますか？ ☐ はい ☐ いいえ ※ 例えば、「2番目に希望する」とした場合は、表面の「利用希望施設・事業」欄で記入した希望順位の第1希望と第2希望の間に在園している保育所等が入ります。		